

# 2023年10月24日掲載 輸送経済新聞

## 社員に歌い継がれる社歌 ①

### 創立記念事業で新たに

#### 第一貨物 社歌

作詞：谷川 俊太郎  
作曲：村川 千秋

限りない大地を掛けて  
ひとすじに闇をつらぬき  
今日を明日へと運ぶとき  
眩しい未来が見えてくる  
たゆみなく道はむすぶ  
世界を世界を世界を一つ  
に

社歌の社内認知度の向上も図っており、2021年には創立80周年記念で山形交響楽団オーケストラによる演奏、山形県出身のバリトン歌手の鈴木集氏による歌唱で再録音した。

(熊田 安那)

第一貨物（本社・山形市、米田総一郎社長）の現在の社歌は、1991年の創立50周年記念事業で誕生した。歌詞やメロディーを工夫し、社員から親しまれ、末永く歌い続けられるようにとの思いを込めて作られた。

詩人の谷川俊太郎氏が作

詞、山形交響楽団創立者（現・創立名誉指揮者）の村川千秋氏が作曲を手掛けた。全社員に親しみやすく、歌いやすい歌詞にした。明るく、たくましく、希望に満ちたメロディーも特長だ。

社歌には、心と心をつなぎ、未来への架け橋の役割を。入社式、社内研修、毎日の朝礼で歌うことで、社員の間で一体感や愛着の醸成、会社への理解度をアップさせることを目指している。

社歌の社内認知度の向上

も図っており、2021年

には創立80周年記念で山形

交響楽団オーケストラによ

る演奏、山形県出身のバリ

トン歌手の鈴木集氏による

歌唱で再録音した。